

報道関係者各位

プレスリリース

2018年5月10日



イクス株式会社

イクス株式会社、広告計測システム『EQS VIEW』において、 Cookie や FingerPrint に依存せず ITP に対応した新たな計測システムを開発

イクス株式会社（本社：東京都国分寺市、代表取締役社長：野田大智）は、広告計測システム「EQS VIEW（イクスビュー）」において、Cookie や FingerPrint に依存せず、「ITP」に対応した新たな計測システムを開発し、5月10日より公開いたします。

背景・経緯

2017年、アップル社は Safari11.0 をリリースし、新しく「Intelligent Tracking Prevention（以下、ITP）」と呼ばれる機能が追加されました。ITP とは、Cookie と呼ばれる端末を識別する技術に制限をかけるもので、広告の正確な配信や計測に影響を及ぼすものでありました。

そこで、広告計測システムを提供する企業は、これに対応するため、各社仕様変更を進めました。ただしその方法は、広告をクリックした際に表示されるページ（通称「ランディングページ」「LP」）に、JavaScript タグを設置する必要があり、従来は成果ページにのみ設置していたのに対し、導入コストがかかる方法でありました。

また、Cookie 以外で計測する手法として、デバイスの様々な情報から端末を推定する技術である「FingerPrint」という技術がありますが、FingerPrint によるユーザーの識別は、「特定」ではなくあくまで「推定」であり、時間の経過に伴い識別が困難になるといった懸念も挙げられています。

そこで当社は、広告効果測定システム「EQS VIEW」において、これらの技術に依存することなく正確なトラッキングを実現するシステムを開発し、ITP 機能に対応致しました。

概要

当社が開発した新しいトラッキングシステムでは、Cookie や FingerPrint に依存せず、広告の配信や計測をすることができます。

当手法では、従来通り、成果ページにタグを設置するのみで、ITP 機能に対応

した形で計測を行うことが可能です。

また、当システムではCookieの技術も併用しているため、PC・AndroidなどITPの影響を受けないプラットフォームではこれまで通りの計測ができ、既に発行したCookieもそのまま利用されます。そのため、当システムの導入によって、既存ユーザーが重複してカウントされるといった問題は発生せず、より正確なトラッキングを実現するシステムとなっております。



■ 広告効果測定システム「EQS VIEW」について



EQS VIEW (イクスビュー) は、純広告、リスティング広告、アドネットワーク広告、アフィリエイト広告、記事広告など、あらゆる広告を一括管理し、全ての広告効果を計測できる、自社開発の広告効果測定システムです。

■ 会社概要

会社名 イクス株式会社 <http://eqs.jp/>
所在地 東京都国分寺市本町 2 丁目 12 番 2 号 三井生命国分寺ビル
設立 2004 年 6 月
代表者 代表取締役社長 野田 大智
資本金 1 億 4,800 万円 (資本準備金含む)
事業内容 インターネット広告事業、メディア事業、インキュベーション事業

■ 本件に関するお問い合わせ先

イクス株式会社 担当：馬屋原
Tel：042-320-8111 E-mail：mayahara@eqs.jp